

日本ラテンアメリカ学会第34回定期大会 プログラム

2013年6月1日、2日 会場：獨協大学（埼玉県草加市）

建物：E棟（東棟）

受付：	1階（ラウンジ）	（弁当お渡しはこちらです）
分科会・パネル：	3階（302、304、306、307、308教室）	
記念講演・総会・シンポジウム：	1階（101教室）	
休憩所・出版社ブース	3階（311教室）	（第2休憩所：1階ラウンジ）
理事会：	3階（310教室）	実行委員会事務局：3階（309、310教室）

6月1日（土） 9時55分～12時15分

● 分科会1「近現代の法・歴史・文化」 【E-302教室】

司会：岩村健二郎（早稲田大学）

- 前田美千代（慶應義塾大学）「ラテンアメリカ諸国の独立と民法典の法典化—フランス民法典とスペイン旧法の相克と葛藤の諸相—」

〔討論〕 大久保教宏（慶應義塾大学）

- 川上英（東京大学等非常勤講師）「エネケンとチクレ—ユカタン半島史における二大輸出産業の比較」

〔討論〕 伏見岳志（慶應義塾大学）

- 矢澤達宏（上智大学）「20世紀前半のブラジル黒人新聞にみる人種」

〔討論〕 鈴木茂（東京外国語大学）

- 中島さやか（明治学院大学非常勤講師）「1920年代におけるチリ大学学生組織の文化活動—機関紙 Claridad に見られる社会、大学、文化—」

〔討論〕 江原裕美（帝京大学）

● 分科会2「現代経済社会」 【E-304教室】

司会：今井圭子（上智大学名誉教授）

- ホリウチ・アンドウ・アリッセ・イズミ（常葉大学非常勤講師）「ブラジル・ポルトガル語教育に関する一考察—静岡県内における大学生を対象とした調査を中心に—」

〔討論〕 小貫大輔（東海大学）

- Alejandra Maria GONZÁLEZ（Graduate Student, Nagoya University）“Maquilas in Central America: The New Legal and Socio-economical Challenges to Overcome”

〔討論〕 久松佳彰（東洋大学）

- 千代勇一（上智大学イペロアメリカ研究所準研究員）「コロンビア・マグダレナ川中流域地方に

おけるコカ栽培農民の排除と包摂—土地所有の視点から—」

[討論] 受田宏之 (東京外国語大学)

- 星川真樹 (東京大学大学院生) 「ペルー首都近郊山岳農村の非伝統的農作物の導入—San Mateo de Ottao 村のチリモヤとアボカドを事例に—」

[討論] 谷洋之 (上智大学)

◆ パネルA 「メキシコとグアテマラにおける先住民・アイデンティティ・自治をめぐる諸問題」 【E-306 教室】

責任者: 池田光穂 (大阪大学)

- 池田光穂 (大阪大学) 「マヤ系先住民における地方自治をめぐる政治意識について」
- 滝奈々子 (大阪大学) 「メキシコとグアテマラにおける音楽演奏家の政治意識」
- 小林致広 (京都大学) 「ゲレロ海岸山岳部の共同体権威地域審議会・共同体警察 (CRAC-PC) の模索」
- 太田好信 (九州大学) 「チマルテナンゴ県のある町に住む一家の遍歴: 混沌と内戦の語りについて」
- 狐崎知己 (専修大学) 「先住民族の政治参加と農村開発戦略の変化: グアテマラ、ボリビア、エクアドルの比較研究」

[討論] 関雄二 (国立民族学博物館)

◆ パネルB 「地域研究は何のためにあるのか」 【E-308 教室】

責任者: 佐野誠 (新潟大学)

司会者: 山本純一 (慶應義塾大学)

- 仙石学 (西南学院大学) 「地域研究と地域間比較研究—中東欧とラテンアメリカの比較の経験から」
- 太田昌国 (現代企画室) 「地域研究という課題—歴史観に拠って「時間」と「空間」を捉える」
- 佐野誠 (新潟大学) 「ラテンアメリカ経済の研究は何のためにあるのか—日本語で書くことの可能性と意義」
- 幡谷則子 (上智大学) 「地域研究は誰のためにあるのか—ラテンアメリカ地域社会へのコミットメントを問い直す」

[討論] 小池洋一 (立命館大学)

[討論] 出岡直也 (慶應義塾大学)

6月1日(土) 12時15分~14時00分

■理事会

【E-310 教室】

6月1日(土) 14時00分～15時45分

● 分科会3「子ども」 【E-304 教室】

司会：江原裕美（帝京大学）

- 小松仁美（淑徳大学大学院生）「メキシコ市の交差点にいきる身体技法—産業化されえない力強さの視点からみるストリートチルドレン—」

〔討論〕 加藤隆浩（南山大学）

- 横田香穂梨（津田塾大学国際関係研究所研究員）「ブラジルにおけるストリートチルドレン支援活動の変容—ローカルアクターの活動原則と実践に関する一考察—」

〔討論〕 山田政信（天理大学）

- 浅倉寛子（メキシコ社会人類学高等研究所）「残された子供たち—中米移民の事例から—」

〔討論〕 牛田千鶴（南山大学）

● 分科会4「メキシコ社会文化文化人類学」 【E-306 教室】

司会：畑恵子（早稲田大学）

- 上原なつき（名桜大学）「死者と生者の行列—アニメーロ、パクパンキート、ナサレーノ—」

〔討論〕 山本匡史（天理大学）

- 川本直美（京都大学）「現代メキシコ西部村落における共同体と教会の関係—ミチョアカン州T村の祭礼とその祭礼組織を事例に—」

〔討論〕 禪野美帆（関西学院大学）

- 山内熱人（京都大学）「メキシコ、オアハカ州のサポテコ系先住民村落における代父母制の変容」

〔討論〕 小林貴徳（同志社大学非常勤講師）


● 分科会5「移民」 【E-307 教室】

司会：浅香幸枝（南山大学）

- 石田智恵（立命館大学専門研究員）「アルゼンチン・ナショナリティの変容の一側面—日本人移民の子孫の経験と「出生地主義」—」

〔討論〕 睦月規子（拓殖大学等非常勤講師）

- Francis PEDDIE（Egresado, Universidad York, Canadá）“Los japoneses valían más que los chinos y negros y tanto como los irlandeses: la inmigración japonesa en México, 1888-1941”

〔討論〕 国本伊代（中央大学名誉教授） （調整中）

- 渡辺暁（山梨大学）「メキシコ・ユカタン州とカリフォルニアをつなぐ移民コミュニティ」

〔討論〕 中川正紀（フェリス女学院大学）

● 分科会6「政治・政策」 【E-308 教室】

司会：杉山知子（愛知学院大学）

- 馬場香織（日本学術振興会特別研究員・慶應義塾大学）「ラテンアメリカにおける年金制度再改革—アルゼンチン、メキシコ、ウルグアイの事例—」
[討論] 宇佐見耕一（アジア経済研究所）
- 吉野達也（神戸大学大学院生）「メキシコにおける1990年代の民主化—州知事選挙における野党の台頭を中心に—」
[討論] 箕輪茂（上智大学イペロアメリカ研究所準所員）
- 細谷広美（成蹊大学）「不平等社会における移行期正義：ペルーの先住民からみる平和構築—」
[討論] 大串和雄（東京大学） ※報告取り下げ

◆ パネルC 「ブラジル・サンパウロの都市ガバナンス—政治・行政・市民—」

【E-302 教室】

責任者：舩方周一郎（上智大学大学院生・日本学術振興会特別研究員）

司会者：大場樹精（上智大学大学院生）

- 舩方周一郎（上智大学大学院生・日本学術振興会特別研究員）「ブラジル地方選挙2012—サンパウロ市長選挙と候補者への世論の反応を事例に—」
- 小野奈々（滋賀県立大学）「チエテ川上流域における市民参加の構造的問題—流域単位にもとづく討議の構造化とサンパウロ市の位置づけ—」
- 清水麻友美（東京大学大学院生）「現場警察官の3重のジレンマ—サンパウロ市の事例—」
[討論] 近田亮平（アジア経済研究所）

6月1日(土) 16時15分～17時15分

■ 記念講演

【E-101 教室】

Fredy RIVERA VÉLEZ（ラテンアメリカ社会科学大学院エクアドル本部）

“Integración y nuevo regionalismo Suramericano: Escenarios y perspectivas”

6月1日(土) 17時20分～18時20分

■ 総会

【E-101 教室】

6月1日(土) 18時30分～20時30分

■ 懇親会

【E-1 階ラウンジ】

6月2日(日) 9時55分(一部10時30分)～12時15分

分科会9・パネルD 9時55分～12時15分

分科会7・分科会8・パネルE 10時30分～12時15分

● 分科会7「文学」

【E-306 教室】

司会：中井博康（津田塾大学）

- 高野雅司（神戸市外国語大学非常勤講師）「ラモン・ロペス・ヴェラルデの祖国像—地方、宗教、女性を通して—」

〔討論〕南映子（中央大学）

- 中村多文字（京都外国語大学他非常勤講師）「アルフォンシーナ・ストルニイの詩における色彩表現に関する—考察—『デスマスクとクローバー』（1938）を中心に—」

〔討論〕駒井睦子（東京大学大学院生）

- 長谷川ニナ（上智大学）“José Guadalupe Posada a 100 años de su muerte”（没後百周年のポサダ）

〔討論〕齊藤文子（東京大学）

● 分科会8「先スペイン期・植民地期の研究」

【E-307 教室】

司会：安村直己（青山学院大学）

- 井上幸孝（専修大学）「ウィスキルカンとクアヒマルパのテチアロヤン絵文書—植民地時代メキシコの先住民土地文書の考察—」

〔討論〕横山和加子（慶應義塾大学）

- ~~井関睦美（明治大学）「先スペイン期ナワトル語における言語・図像表現—認知言語学の視点から—」~~

~~〔討論〕井上幸孝（専修大学）~~ ※報告取り下げ

- 小林致広（京都大学）「メシーカの征服活動とその記録—石彫モニュメントと絵文書記録における絵文字表記の差異—」

〔討論〕井関睦美（明治大学） ⇨ 井上幸孝（専修大学）

● 分科会9「文化」

【E-308 教室】

司会：倉田量介（東京大学等非常勤講師）

- 野内遊（名古屋大学非常勤講師）「教育的コンテンツとしてのテレノベラ—El clon を中心に—」

〔討論〕マウロ・ネーヴェス（上智大学）

- 上村淳志（日本ラテンアメリカ学会会員）「現代メキシコにおける性文化の混淆—男性同性愛行為をめぐる複数の言説の共存—」

〔討論〕松久玲子（同志社大学）

- エリカ・ロッシ（一橋大学）「『ラテン音楽・シーン』と『デカセギ・ミュージック・シーン』—音楽の場を巡って—」

[討論] 石橋純 (東京大学)

- Betsy FORERO MONTOYA (Universidad de los Andes, Bogotá) “Influencia del mundo pop japonés en la negociación de constructos de género de la juventud colombiana”

[討論] 山蔭昭子 (前)大阪大学) ⇨ 石橋純 (東京大学)

◆ パネルD 「多民族地域アンデスの学際的考察—ボリビア・CIDES セミナーの経験から—」

【E-302 教室】

責任者：梅崎かほり (神奈川大学)

- 蝦名大助 (神戸夙川学院大学) 「南部ケチュア語とスペイン語との言語接触」
- 梅崎かほり (神奈川大学) 「アフロ系ボリビア人の復権運動に現れる“ネーション”についての考察」
- 岡田勇 (日本学術振興会特別研究員・京都大学) 「ペルーとボリビアにおける天然資源にまつわる最近の社会紛争と各国固有の過程」
- 宮地隆廣 (同志社大学) 「先住民運動組織の分裂にまつわる分析」

[討論] 舟木律子 (中央大学)

◆ パネルE “HACIA UN NUEVO ESCENARIO DE SEGURIDAD EN AMÉRICA DEL SUR”

【E-304 教室】

責任者：浦部浩之 (獨協大学)

- José Luis PAINE (チリ国防省) “El camino hacia el fin del conflicto armado en Colombia”
- Fredy RIVERA VÉLEZ (ラテンアメリカ社会科学大学院エクアドル本部) “Tensiones estratégicas y tendencias en seguridad e inteligencia en la región andina”

[討論] ロメロ・ホシノ・イサミ (帯広畜産大学)

6月2日(日) 13時45分~16時15分

■ シンポジウム「ラテンアメリカ研究の射程」

【E-101 教室】

- 趣旨説明と司会：佐藤勘治 (獨協大学)
- 柳原孝敦 (東京外国語大学) 「ラテンアメリカ主義再考」
- 砂野幸稔 (熊本県立大学) 「対象としての地域、想像される地域：アフリカ地域研究とカリブ海研究の接点から」
- 園田節子 (兵庫県立大学) 「南北アメリカ近代華僑の地域間コミュニケーションから考える『地域』」
- 中野由美子 (成蹊大学) 「植民」対「征服」：合衆国「西部史」研究と先住民

[討論] 鈴木茂 (東京外国語大学)

[討論] 工藤多香子 (慶應義塾大学)